

編集後記

『真実心』第十五集をお届けします。従来と比べて少しスリムになりましたが、一九九三年度の宗教講座が収められています。今一度読み返され、本学に学ばれたよすがになればと願っております。

昨年、コロンビア大学、中世日本研究所所長のバーバラ・ルーシュ女史が『もう一つの中世像』（思文閣）という本を出版され、その中で、鎌倉中期の禅尼、無外如大（幼名は千代野）に言及されている。如大は東福寺で出家修行するも、その若さと美貌ゆえに、男性修行僧の間でトラブルが絶えず、やむなく自らその麗貌を焼いて、鎌倉に帰ることになるが、仏光国師の下でさらに修行を重ね、その後、京都に景愛寺を創建し、自らその主となったばかりか、多くの末寺をかかえ、弟子の指導にあたったという。難行、易行を言うまえに、この女性がたどった真摯な求道の姿に学ぶべきものがないでしょうか。

最後になりましたが、ご講話をお願いしました先生方には、ご多用のなか原稿にお目通しを

いただいたことを厚く御礼申し上げます。なお、本文の文責はひとえに編集委員にあることをお断りしておきます。

(編集委員)

一九九四年三月一〇日発行

眞 実 心 第十五集 非売品

発行所

光 華 女 子 大 学

光 華 女 子 短 期 大 学

〒615

京都市右京区西京極葛野町三八番地

電話 〇七五―三二二―一七八三代

印刷

㈱ 吉川印刷工業所

〒601

京都市南区吉祥院道登中町四五―一

電話 〇七五―六九一―八二八六代